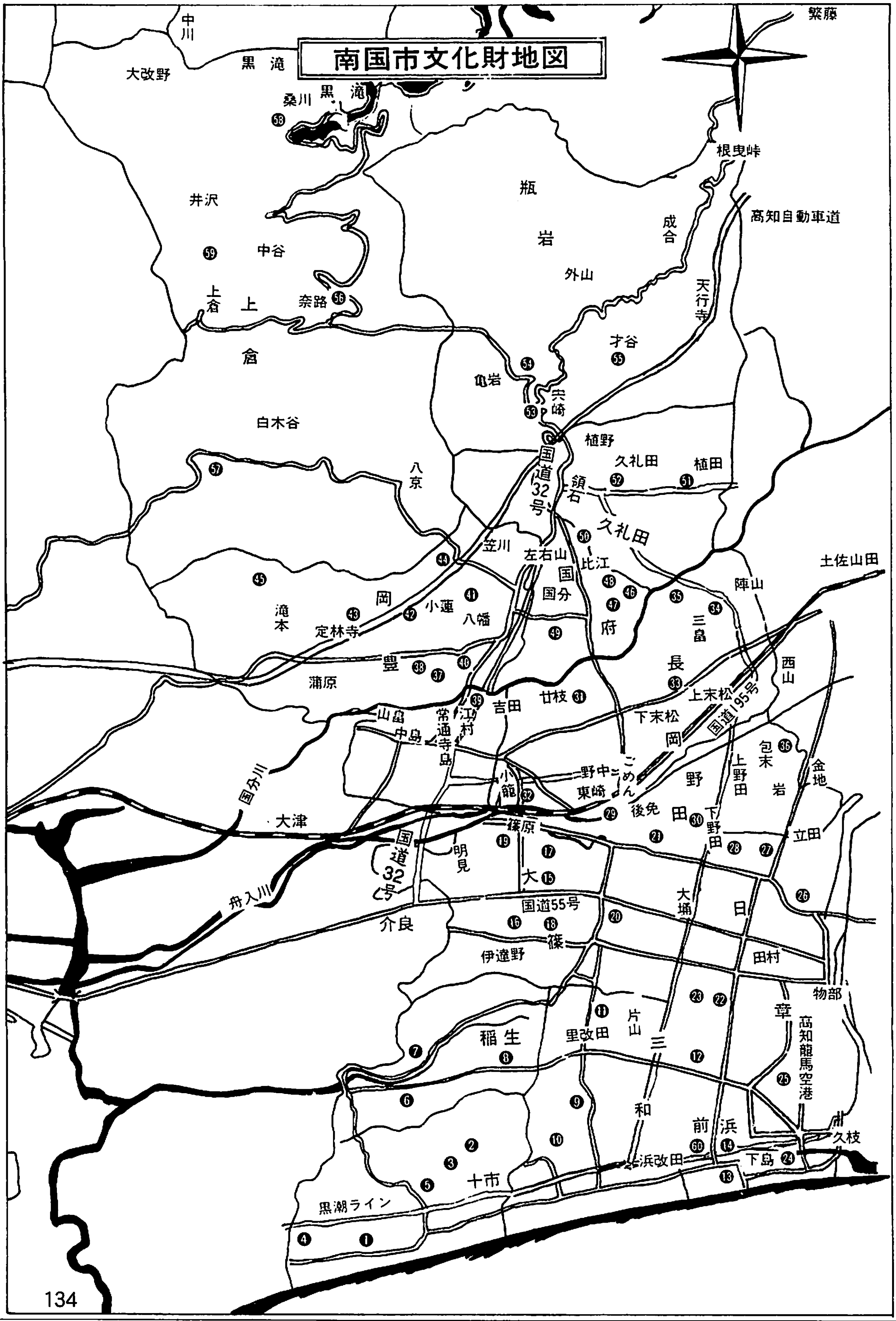
年表　高知県・南国市のあゆみ

時代	年　代	お　も　な　で　き　ご　と
	約1万2千年前	●女神石などが使用される。(上黒岩岩陰遺跡ー愛媛県美川村)
縄文	約1万年前	●黒色の細石器が使用される。(高間原古墳ー高知市介良)
		●縄文前期の土器や石器が使用される。(不動ヶ岩屋洞窟遺跡ー佐川町)
	約5千年前	●狼にかまれた人の骨（城の台洞窟遺跡ー佐川町)
	約3千年前	●四国で一番大きな宿毛貝塚（宿毛市)
弥生	約2千3百年前	●土佐でも米づくりが始まる。
	約2千年前	●水田跡や人の足跡などが残される。(田村遺跡)
	2〜3世紀	●「神の壺」と呼ばれる弥生土器を使用していた。(龍河洞遺跡ー香美市土佐山田町)
古墳	5〜7世紀	●県内のあちこちで古墳がつくられる。(小蓮古墳・明見古墳・朝倉古墳など)
奈良	724	●行基が土佐に来て竹林寺・豊楽寺・延光寺などを建てる。
	741	●土佐国分寺がつくられたといわれる。
平安	807	●空海が峰寺・最御崎寺等を建てたといわれる。
	930	●紀貫之が国司となり土佐に来る。
	934	●紀貫之が京の都に帰り「土佐日記」を書く。
	940	●藤原純友が幡多郡に攻め込み、放火する。
	1160	●源希義が土佐介良庄に流される。
	1182	●源希義が年越山で殺される。
鎌倉	1192	●このころ、秦能俊が長岡郡宗我郷に移り住み長宗我部氏と称する。
	1221	●土御門上皇が土佐に流される。
室町	1340	●大高坂城がおちて、松王丸が戦死する。
	1380	●細川頼益が土佐守護代となり、田村に居城する。
	1468	●一条教房が応仁の乱をさけて中村にくる。
戦国	1575	●長宗我部元親が土佐を統一する。
	1585	●長宗我部元親が四国を統一する。
		●元親が秀吉と戦って敗れ、土佐一国の領主になる。
		●九州出兵し、長男信親戦死する。
	1592	●元親が朝鮮へ出兵する。
	1597	●元親が朝鮮へ出兵する。
	1600	●長宗我部盛親が関ヶ原の戦いで敗れ、山内一豊が土佐の国主になる。
江戸	1603	●山内一豊が、新しくできた高知城に移る。
	1631	●野中兼山が奉行になる。

江戸	1652	●稲吉新町（後免）を開く。
	1658	●舟入川・中井川ができる。
	1663	●野中兼山が奉行をやめ、亡くなる。
	1664	●山田堰ができる。
	1679	●一木権兵衛が室津港工事完成とともに自殺する。
	1703	●土佐藩が紙のお金をつくる。
	1755	●高岡郡で津野山一揆がおこる。
	1785	●暴風雨にあい、野村長平が鳥島に漂着する。
	1808	●伊能忠敬が土佐に来て測量をする。
	1819	●徳右衛門が下田村で石灰の作り方を伝える。
	1841	●中浜万次郎が、暴風雨にあい、鳥島に漂着する。
	1852	●中浜万次郎がアメリカからかえる。
	1854	●須崎・浦戸・前浜などに砲台をつくり始める。
	1861	●土佐勤王党ができる。
	1865	●土佐勤王党の武市半平太や島村衛吉が獄中で死ぬ。
	1867	●坂本龍馬が海援隊をつくる。龍馬が殺される。 ●山内容堂のすすめで、徳川慶喜が、大政奉還を行う。
明治1	1868	●堺事件がおこる。
4	1871	●廃藩置県により、土佐藩をやめ高知県となる。
7	1874	●板垣退助や片岡健吉が立志社をつくる。 ●政府に民撰議院設立建白書を出す。
12	1879	●初めて県議会が開かれる。
15	1882	●板垣退助が岐阜の演説会場の外で、短刀でさされる。
20	1887	●武市安哉が保安条例にかかり獄に入れられる。
23	1890	●第1回衆議院選挙が行われる。
25	1892	●武市安哉が代議士に当選する。
26	1893	●武市安哉が北海道浦臼に聖園農場をつくる。
29	1896	●朝倉に歩兵44連隊ができる。
32	1899	●吉川類次が衣笠早稲をつくる。
37	1904	●高知市に初めて電車が走る。高知新聞社ができる。
40	1907	●高知市に初めて電話交換局ができる。
43	1910	●高知市に初めて自動車が走る。
44	1911	●後免町へ電車が来る。

大正1	1912	●後免町や田村に電灯がともる。
3	1914	●高知から安芸までバスが通る。
13	1924	●須崎・高知間や後免・手結間に鉄道が開通する。
昭和4	1929	●浜口雄幸が総理大臣になる。
5	1930	●浜口雄幸が東京駅でうたれる。
7	1932	●高知放送局が開局し、ラジオ放送が始まる。
10	1935	●土讃線が開通する。(多度津ー須崎)
16	1941	●太平洋戦争が始まる。
17	1942	●学徒動員により、三島村の久枝山（命山）がつぶされ、軍用滑走路や掩体がつくられる。
20	1945	●高知市が空襲をうける。太平洋戦争が終わる。
21	1946	●南海大地震がおこる。
24	1949	●高知大学ができる。南国市物部に農学部ができる。
		●高知女子大学ができる。
29	1954	●高知・大阪間に準定期航空路が開かれる。
		●宿毛市・中村市・安芸市・土佐清水市・須崎市ができる。
33	1958	●高知でテレビ放送が始まる。
34	1959	●土佐市・室戸市・南国市ができる。
38	1963	●国立高知工業高等専門学校が開校する。
44	1969	●南国バイパス（国道55号線）が開通する。
45	1970	●台風10号のため大きな被害を受ける。
		●国鉄中村線が開通する。
48	1973	●土電安芸線が廃止される。
49	1974	●国鉄予土線が開通する。
53	1978	●国立高知医科大学が開校する。
58	1983	●高知空港が拡張され、ジェット機が就航する。
59	1984	●黒潮博覧会が開かれる。
62	1987	●高知自動車道（南国・大豊間）が開通する。
63	1988	●瀬戸大橋が完成し、本州と四国がつながる。
平成3	1991	●㈶高知県文化財団埋蔵文化財センター（大埇）ができる。
		●高知県立歴史民俗資料館（岡豊）ができる。
4	1992	●高知自動車道（大豊・川之江間）が開通する。
10	1998	●　〃　（南国・伊野間）　〃
		●高知新港が開港する。
14	2002	●ごめん・なはり線が開通する。
15	2003	●高知空港が高知龍馬空港となる。
16	2004	●高知龍馬空港の滑走路が2,500mに延長される。
18	2006	●7基の掩体壕が「前浜掩体群」として南国市の史跡に指定される。
20	2008	●岡豊城跡が国の史跡に指定される。


南国市文化財地図
中川
黒滝
大改野
繁藤
桑川
根曳峠
瓶岩
高知自動車道
井沢
成合
中谷
外山
天行寺
上倉
奈路
才谷
亀岩
宍崎
白木谷
植野
久礼田
植田
八京
国道32号
領石
笠川
左右山
比江
土佐山田
国分
陣山
滝本
岡豊
小蓮
八幡
定林寺
府
三畠
蒲原
長
西山
吉田
廿枝
上末松
山畠
常通寺島
江村
下末松
国道195号
中島
岡
包末
金地
野中
ごめん
小籠
東崎
野
上野田
岩
国分川
大津
後免
田
下野田
立田
篠原
明見
大
国道55号
舟入川
大埇
日
介良
篠
伊達野
田村
物部
片山
章
稲生
里改田
高知龍馬空港
三
和
前浜
久枝
浜改田
下島
十市
黒潮ライン

南国市の史跡と文化財

1 禅 師 峰 寺 ……………四国八十八ヶ所第三十二番札所。真言宗豊山派。僧空海が開く。本尊は、空海作の十一面観音像。

2 亀蔵揚梅の原木 ……………幕末、十市の人形谷の島田亀蔵が原木を発見。回り1.5m、高さ10m、樹齢200年。

3 北代健助邸跡と墓所 ………十市人形谷。フランス水兵と衝突した堺事件により、1868(明治元)年2月23日自刃。行年36才。

4 石 土 神 社 ……………十市阿戸。祭神は、いざなぎの命の子、磐土神。『続日本後紀』に「官社にする」と記載。一般に「いしづち神社」と言っている。

5 吉村春峰邸跡 ……………幕末、十市村庄屋として勤める。維新後上京、土佐の古書を整理し「土佐国群書類従」を編纂。

6 河 泊 神 社 ……………稲生の下田川の河童の霊を祭る神社。旧暦、毎年6月15日に河童祭りが行われている。

7 下田の石灰石 ……………阿波の人徳右衛門が遍路途中下田で行き倒れ土地の人に世話になったお礼に石灰の焼き方を教えたという。

8 西村左平次邸跡 ……………西立石。堺警備にあたった八番歩兵隊長。堺事件で六番隊長の箕浦猪之吉に次いで自刃。

9 蚊 居 田 城 跡 ……………三和小学校の南方300m。城主中沢重清は、田村城主細川氏につかえ、二千貫の領地を治める。

10 琴 平 神 社 ……………里改田の琴平山上。祭神は大物主神であったが、維新後崇徳天皇を合しした。

11 絵金の芝居絵 ……………片山公民館。絵金(1812～1876)は江戸で修業した後、家老桐間家の御絵師になった。

12 千屋城跡と野見嶺南遺跡 …前浜の下田村。方200mの平城で外・内濠をめぐらせていた。野見嶺南は南学の学者。

13 前 浜 砲 台 跡 ……………1853年黒船来航、藩は須崎・浦戸・種崎等に砲台を築いた。1854年ホイッスル砲数門備え付けた。

14 大 湊 跡 ……………旧物部川の河口港。紀貫之が、934年12月28日浦戸を出て大湊につき11日間も滞在。

15 オナガドリ ……………江戸時代後期、篠原の武市利右衛門がオナガドリを作ったといわれる。住吉通り電停北川に頌徳碑あり。

16 花 之 丞 墓 ……………江戸時代中期、住吉野に花の好きな花之丞という男が居た。墓は船岡山の東側にある。

17 柏 水 ……………源義朝の子、頼朝の弟である希義が介良から逃げる途中、篠原で柏の葉で水を飲んだという泉。

18 武市安哉邸跡 ……………住吉野。自由民権運動家、政治家、宗教家として活躍。後に北海道開拓の事業に従事した。

19 皿 屋 敷 ……………篠原電停の西南に春喜さまとよばれる祠がある。渋谷家の皿にまつわる悲劇。

20 お産土坊主の墓 ……………吾岡山東の山崎部落に処刑場の土壇場があった。そこで玄徳

という茶坊主が処刑されたという。
21 吉川類次頌徳碑 ……………稲生衣笠出身。衣笠早稲をつくった篤農家として有名である。
22 田 村 城 跡 ……………土佐守護代細川氏4代の城館跡。田村土居を中心に5haの広大な地に築かれていた。
23 田村遺跡群 ……………南四国最大の弥生時代遺跡。銅鉾・石器・土器・住居跡・水田跡等、多数発掘。
24 島村衛吉の墓 ……………下島出身。土佐勤王党に属する。吉田東洋暗殺の嫌疑で投獄され、獄中で拷問を受け死亡した。
25 高 知 空 港 ……………戦争中、学徒動員によって三島村の久枝山（命山・宝山）をつぶし軍用滑走路にした。
26 立田の経塚 ……………立田の土居城が長宗我部氏に滅ぼされたとき、戦没者を埋葬し、経文を埋蔵したところといわれている。
27 立 田 神 社 ……………菅原高視の乳母がこの地でなくなり、道真と乳母の霊を祭ったといわれる。
28 嶺 南 社 跡 ……………立志社に対抗して旧土佐勤王党の池知退蔵ら有志が1878年立田村永田に組織した。香長学舎を設立。
29 後免町の由来 ……………野中兼山は、ここを諸役・諸税御免にしたところから町名ができた。
30 野 田 城 跡 ……………野田氏は、長宗我部氏にしたがい幡多平定に功をたて、野田から宿毛へと移った。
31 西島園芸団地 ……………農事組合9農家の共同経営。この付近は、かつて広井城のあったところである。
32 野中廃寺跡 ……………野中地区の仁王に平安前期の寺跡がある。寺院は約120m四方の広さをもっていたと想像される。
33 池知退蔵墓 ……………土佐勤王党で活躍。維新後、嶺南社香長学舎を開設。墓は、南三畠にある。
34 細川頼直邸跡 ……………江戸で天文・暦学を学び1794（寛政6）年改暦に努力した。著書に「写天儀記」「機巧図彙」等あり。
35 オサバイ杉 ……………オサバイさまは農家の神。廿枝に樹齢200年、高さ15mの杉がある。この木は田の水口に祭った杉。
36 岩 村 城 跡 ……………岩村福船にあり、城主は岩村掃部。元親の三男親忠、幽閉地。親忠の墓あり。
37 岡 豊 城 跡……………19代兼序の時、落城。20代国親の時、再興。21代元親は1575年土佐平定。1585年四国平定。
38 長宗我部氏累代の墓所 ……長宗我部氏20余代の墓は、岡豊山の北谷にある。1番上段の立派な宝篋印塔は、長男信親の墓だという。
39 吉 田 城 跡 ……………吉田氏は、長岡郡14ヶ村を領して江村郷吉田に城を構え、長宗我部氏の再興に功あり、吉田東洋の先祖。
40 谷秦山先祖の墓 ……………谷家は、大国主命のしそんといわれ、代々岡豊八幡宮の神職であった。墓石は川石などの自然石を使用。
41 岡 豊 八 幡 宮 ……………大和の国三輪社から祭神を迎える。長宗我部氏ゆかりの宝物

がかあったが、大正年間大火にあい焼失。

42 小蓮古墳……………二段になった楕円形の円墳。明治時代から開口していたので副葬品は盗掘されている。

43 平井善之丞邸跡……………「おこぜ組」の疑獄で岡豊の小野で閑居。武市半平太が土佐勤王党を結成するときに協力する。

44 舟岩古墳群……………大平山の山頂に近い舟岩には20余の古墳があったがパイロット事業として開墾され現在はない。

45 毘沙門の滝……………滝本にあり、高さ30m、3段にわかれて落ちている。近くに毘沙門堂がある。

46 比江廃寺跡……………白鳳時代の古瓦が出土する廃寺で、県内では最古の寺院跡である。塔石は、国の指定史跡になっている。

47 国衙跡……………この地に政治に関係がある国庁・府中・内裏などのホノギが残り、県指定史跡になっている。

48 比江山史跡……………比江山は、元親の従弟である長宗我部親興居城の地である。永源寺には、乾家一族の大きな墓がある。

49 国分寺……………行基が開山、空海が中興。29番札所。寺の東南の土塁は、創建当時のまま残っており、国の指定史跡。

50 阿波塚……………長宗我部7代兼光の時、阿波軍と戦い、阿波兵の死骸を埋葬した塚。

51 高松古墳……………横穴式円墳で少なくとも5人は埋葬された小豪族の家族墓である。

52 久礼田城跡……………久礼田氏歴代の居城。元親は、一条内政の子政親を久礼田におき、久礼田七百石、天行寺百石を給する。

53 坂本兄弟……………兄素魯哉は台湾で実業家となる。弟志魯雄は自由民権運動に参加する。のち衆議院議員になる。

54 ハンド岩……………瓶岩川に逆さに伏せた酒瓶に似た岩があり、地域の人たちはハンド岩という。

55 坂本竜馬祖先の墓…………坂本家の先祖は、明智光秀の末裔といわれる。才谷に坂本家初代の太郎五郎の墓がある。

56 奈路の掘割り……………桐間氏は川村親子に命じて中谷川の水を引いて掘割りを計画。1849年、奈路に流すことに成功した。

57 白木谷のタチバナ…………県指定になっている白木谷のタチバナは、樹齢200年こしたものもあり冬になれば鈴なりの実がなる。

58 桑の川の鳥居杉……………桑の川神社に2本の大木があり、その枝が横にのび連結してH状になり、鳥居の形をしている。

59 中岡慎太郎先祖の地………慎太郎の先祖は上倉の庄屋であった。慎太郎の父小伝次の時、北川村の庄屋になって柏木に移る。

60 前浜掩体群……………掩体は、敵の攻撃から飛行機を守るためのもの。7基の掩体壕が、「前浜掩体群」として南国市の史跡に指定されている。

という茶坊主が処刑されたという。

21 吉川類次頌徳碑 ……………稲生衣笠出身。衣笠早稲をつくった篤農家として有名である。

参考資料・文献

「高知の歴史ものがたり」	土佐教育研究会社会科部会	日本標準
「高知の地理ものがたり」	土佐教育研究会社会科部会	日本標準
「高知の算数ものがたり」	土佐教育研究会算数科部会	日本標準
「高知の理科ものがたり」	土佐教育研究会理科部会	日本標準
「人物と文化遺産による高知の歴史」	土佐教育研究会社会科部会	日本標準
「おはなし歴史風土記・高知」	高知県歴史教育者協議会	岩崎書店
「土佐の巨星」(小・中学校編)	高知県市町村教育委員会連絡協議会	第一法規
「ぼくらの高知県」	西本靖生　編著	ポプラ社
「高知県百科事典」		高知新聞社
「図説・土佐の歴史」	平尾道雄	講談社
「土佐　その風土と史話」	平尾道雄	高知県
「高知県の歴史」	山本　大	山川出版
「高知県の歴史散歩」	高知県高等学校社会科歴史部会	山川出版
「土佐の高知いまむかし」		高知新聞社
「江戸時代人づくり風土記」39		農文協
「図録・高知市史」	高知市文化振興事業団	高知市
「南国市史」上・下		南国市
「南国市文化財めぐり案内」		南国市教育委員会
「南国市の歴史を歩く」		南国市教育委員会
「高知市立自由民権記念館常設展示案内」		高知市立自由民権記念館
「高知の戦争遺跡」		戦争遺跡保存ネットワーク高知

◎他は、本文中または資料中に記入させていただきました。

写真協力・提供　　高知県教育委員会
高知市立自由民権記念館
高知県立埋蔵文化財センター
高知県立歴史民俗資料館
猪野吉保（元岡豊小学校校長）

取材協力　　山本哲也（高知県立埋蔵文化財センター）
香長ゼミナール館

題　字	門田道宏	（元南国市教育委員長）
表紙絵他	田島惇巳	（元国府小学校校長）
編　集	南国市小学校社会科副読本編集委員会	
編集者	野中美宏	（南国市立教育研究所長）
	小林祐美子	（大篠小学校教諭）
	彼末健一	（大篠小学校教諭）
	田所久仁夫	（奈路小学校教諭）
監　修	岩原信守	（元南国市教育委員）
	武政章次郎	（元田井小学校校長）

社会科副読本

南国市の歴史

発行日	初　版	平成2年3月31日
	改訂版	平成4年3月31日
		平成8年4月1日
		平成10年4月1日
		平成13年4月1日
		平成16年4月1日
		平成19年4月1日
	改訂新版	平成21年4月1日

編　集　南国市小学校社会科副読本編集委員会
発　行　南国市立教育研究所
印　刷　平和プリント